

服用に際し、この説明書を必ず読むこと。また、必要なとき読めるように大切に保管すること。

かぜ薬

鼻水・せき・のどの痛みに

第2類医薬品

アナクール竜宝G

製品の特徴

アナクール竜宝Gは、鼻水、鼻づまり、のどの炎症などの症状にはたらく漢方薬「小青竜湯エキス」に、鼻水、のどの痛み、発熱などのかぜの諸症状を和らげる5つの成分を配合したかぜ薬です。



使用上の注意

⊗ してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる。）

- 次の人は服用しないこと。
 - 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないこと。
他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等（鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬等）。
- 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと（眠気等があらわれることがある）。
- 服用前後は飲酒しないこと。
- 長期連用しないこと。



相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。
 - 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
 - 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - 高齢者。
 - 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - 次の症状のある人。
高熱、排尿困難。
 - 次の診断を受けた人。
甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍、緑内障。
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい
泌尿器	排尿困難
その他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症、 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ（小膿疱）が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらっとする、血尿等があらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛（節々が痛む）、下痢等があらわれる。

- 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。
口のかわき、眠気。
- 5～6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。

効能効果

かぜの諸症状（鼻水、鼻づまり、くしゃみ、のどの痛み、せき、たん、悪寒、発熱、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み）の緩和。

用法用量

次の1回量を1日3回 食後なるべく30分以内に服用する。

年 令	1回量
成人（15才以上）	1包
11才以上 15才未満	2/3包
7才以上 11才未満	1/2包
3才以上 7才未満	1/3包
3才未満	服用しないこと

〈用法用量に関連する注意〉

小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。

成分分量

3包（成人1日量）中

（1包 1.5g）

成 分	分量	はたらき
アセトアミノフェン	900mg	炎症を抑え、発熱、頭痛・関節の痛みなどを緩和します。
d-クロルフェニラミンマレイン酸塩	3.5mg	くしゃみ・鼻水・鼻づまりなどの症状を緩和します。
チベジジンヒベンズ酸塩	75mg	せきを抑え、たんを出しやすくします。
無水カフェイン	150mg	頭痛を緩和します。
グアヤコールスルホン酸カリウム	250mg	たんを出しやすくします。
小青竜湯エキス	1335mg （原生薬として 8010mg相当量）	鼻水、鼻づまり、のどの炎症などの諸症状を和らげます。

添加物として乳糖水和物、トウモロコシデンプン、リン酸水素Ca水和物、ヒドロタルサイトを含有する。

保管および取扱い上の注意

1. 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
2. 小児の手のとどかない所に保管すること。
3. 他の容器に入れかえないこと（誤用の原因になったり品質が変わる）。
4. 1包を分割した残りを服用する場合には、袋の口を折り返して保管し、2日以内に服用すること。
5. 表示の使用期限を過ぎたものは服用しないこと。

【問い合わせ先】

1. 購入した薬局・薬店
2. 日水製薬株式会社 お客様相談窓口 電話：03-3837-0987
受付時間：午前10時～12時、午後1時～5時
（土・日・祝日を除く）



製造販売元
日水製薬株式会社
東京都台東区上野3-23-9

副作用被害救済制度の問い合わせ先

（独）医薬品医療機器総合機構 <http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html> ☎ 0120-149-931